

# かけはし

第73号 平成18年3月13日発行  
千代田区教育委員会  
<http://kyoiku.city.chiyoda.tokyo.jp/>



## 主な記事

- ★ 平成18年度教育目標
- ★ 麴町中学校
- ★ 地域で子どもの安全を守る活動
- ★ 九段中等教育学校適性検査の結果
- ★ 夢の課外授業
- ★ 三学期・後期課程のできごと

## 九段中等教育学校 初の適性検査に臨む児童

2月3日(金) 明治大学リパティ  
タワーにて適性検査を実施し  
ました。



古紙配合率100%再生紙を使用しています

# 平成18年度の教育目標(概要)

千代田区教育委員会は、「千代田区新世紀構想」に示された基本理念である「都心の魅力にあふれ、文化と伝統が息づくまち千代田」の実現を目指し、未来を担う子どもたちに対して以下に示した人間像の育成に向けて教育を推進します。

- 社会規範を身に付け、社会に貢献しようとする人間
- 個性を磨き、生涯を通じて学ぶ意欲と創造力をもった人間
- 豊かな心を備え、国際社会で活躍できる人間

また、学校教育及び社会教育を充実し、誰もが生涯を通じて主体的に学ぶことのできる生涯学習社会の実現を図るとともに、受け継がれてきた伝統文化を育てながら、千代田らしい新たな文化を創り出していきますようにします。

そして、教育は、家庭、学校及び地域のそれぞれが責任を果たし、連携して行われなければならないとの認識に立って、千代田区に住み、働き、学び、集う、すべての人々が教育に参加することを目指します。

## 千代田区教育委員会の基本方針

### 【基本方針1. 人権尊重の精神と社会性をはぐくむ教育の推進】

すべての大人、子どもが人権尊重の理念を正しく理解するとともに、他人を思いやる心や規範意識、社会生活上のルールを守るなどの社会性をはぐくみます。そのため、すべての学校教育活動を通して人権教育及び心の教育を充実するとともに、社会性・公共の精神をはぐくむ教育を推進します。

### 【基本方針2. 個性と創造力を伸ばす教育の推進】

生涯を通じて自ら学び、自ら考え、自ら行動して、創造的に自己実現を図り、充実した生き方ができるようにします。そのため、基礎的・基本的な内容を重視し、探究心や発想力、創造力など幅広い学力を高める教育、「知・徳・体のバランス良い発達」を目指す教育を推進し、生きる力をはぐくむ教育活動の基盤として特色ある学校づくりを推進します。

### 【基本方針3. 国際化、情報化社会に対応する教育の推進】

国際社会にあって、日本人としての教養と誇りをもち、世界の人々と積極的に対話し、世界を舞台に行動できる人材の育成を図ります。そのため、国際教育をより一層充実し、世界の中の日本人としてのアイデンティティを育てる教育を推進するとともに、グローバル化に対応できるような情報教育や環境教育の推進を図ります。

### 【基本方針4. 「生涯を通じた学習」と「文化・スポーツ」の振興】

人生80年時代となり、自由時間の増加や教育水準の向上が、価値観の多様化や、自己実現への意欲の高まりを生み、個性を伸ばす生涯学習への取組が求められています。そのため、人々が生涯にわたり充実した生活を送り、自己実現を図るよう、様々な学習機会を通じて、自ら学び、文化芸術やスポーツに親しむ活動を推進します。

### 【基本方針5. 区民の教育への参加と学校運営の充実】

学校・家庭・地域社会の協働を通して、都心千代田にふさわしい魅力ある教育環境づくりを推進します。そのため、大学や企業・NPO等との緊密な連携・協力のもとに、地域に根ざし区民の期待に応えられる、開かれた学校運営を重視した教育行政を展開します。

## 文化と歴史

# 麹町中学校

麹町中学校長 島川 登

### 〈文化〉

麹町中学校の建つ麹町地区は、江戸時代は武家地であり、所々に武家を相手とする商家がありました。そのためかこの地区には、武家の文化と町人(商家)の文化があり、日枝神社のお祭りは將軍家お目見えのお祭りとして、地区の人々に支持されていたようです。明治維新を迎え、武家が官僚や軍人に入れ替わり、文化人や言論人や経済人も住むようになりました。土地の文化は歴史を形作ります。

### 〈歴史〉

昭和二十二年の創立で、平成十九年には創立六十周年を迎えます。卒業生は幅広く各界に多く、政治家として国を動かす方、ジャーナリストとして世界を駆け巡る方、芸術家として人々に感動を提供する方、経済界で社会のトップとして決断している方、大学で研究や教育に携わる方、医療の最先端で、開発や治療に専念している方、食べ物や物作りの専門職としてその世界の先達として後進の指導に当たっている方など、大勢の方々がこの学校を巣立って行かれました。歴史は文化を形作ります。



新緑の校庭

### 本校の教育目標

学校を形作るのは、教育目標です。

- 一、自主性
- 二、社会性
- 三、創造性

中学校は、思春期の子どもを教育する場です。大人になった将来、自分の幸せの価値観と社会が善しとする価値観が一致することは、個人にとっても社会にとっても大切なことです。社会の一員として、創造性を持って、自主的な行動をしたことが、個としての充実感を得、それが社会にも認められ、社会の発展にも役立つのです。大人の前段階の中学時代だからこそこの三つが大切であり、どんな時代にあっても普遍性を持っています。

### ◎確かな学力

これからの社会に必要な力を求めて変化の激しい現代にあって、必要な

### 今求められている課題

#### ◎安全・安心

- 一、危険を予測し、回避する指導
- 二、薬物乱用防止教育の実施
- 三、禁煙教育の実施
- 四、防災教育

#### ◎個性を伸ばす

- 一、選択幅の拡大  
(全学年9教科10コース)
- 二、学外のコンクールへの参加  
(作文や標語コンクール等で大臣賞・長官賞等入賞)
- 三、資格の獲得(英検・漢検)
- 四、部活動(美術部・吹奏楽部・科学部・テニス部・陸上部・バスケ部・卓球部・バレー部)



1年職場訪問発表会  
(総合的な学習の時間)

☆本校は、生徒を厳しく鍛える学校です。自分の未来を信じて、怠惰に流れることなく、自分に対して厳しくなれる人が学ぶ場です。

☆本校は、三年間の自己鍛錬を通して、自分の夢に向かってチャレンジできる学校です。

# まちかど見守り隊始動！



▲ 安全・安心パトロール腕章・帽子



▲ 子どもの安全を守る連絡会  
「子ども安全会議」(お茶の水小学校)



▲ 見守り隊 (九段幼稚園保護者)



▲ 見守り隊 (九段南二丁目町会)

## 適性検査受検状況

募集区分 A(千代田区民)			
	募集人員	受検者数	倍率
男	40人	63人	1.6倍
女	40人	59人	1.5倍
計	80人	122人	1.5倍
募集区分 B(千代田区民以外の都民)			
	募集人員	受検者数	倍率
男	40人	396人	9.9倍
女	40人	435人	10.9倍
計	80人	831人	10.4倍



平成18年2月9日、区立初の中高一貫校「九段中等教育学校」の合格発表が、千代田区公会堂で行われました。午前9時にステージの幕が開き、掲示された合格者の受検番号が現れると、待ちかまえていた児童や保護者から歓声が上がりました。合格者は、その後、区役所10階で賀澤校長より直接合格通知を受取りました。また、同時に新入生ガイダンスの案内を受け、制服の採寸等を実施しました。

## 九段中等教育学校 適性検査の結果

# 地域で子どもの安全を守る活動

## 昨年12月に緊急区民会議を開催

最近の子どもが被害者となる凶悪事件を受けて、千代田区では、昨年12月15日に町会をはじめとする関係団体、区民代表160名参加による「子どもの安全緊急対策区民会議」を開催し、地域をあげて子どもの安全を守ることの大切さを共通認識とし、地域全体で取り組むこととしました。

## 各小学校の地域ごとに活動を開始

この緊急区民会議を受けて、各小学校ごとに保護者やPTAをはじめ、町会、こども110番連絡会、民生児童委員、青少年委員など地域の人々や警察などの関係機関で構成する子どもの安全を守る連絡会を立ち上げ、各小学校の地域ごとに子どもの安全を守る具体的な方策を話し合いました。

今後、各小学校の地域ごとに、地域の方々の協力を得て、これらの連絡会で話し合われた子どもの安全を守る活動を行っていきます。

## 子どもの安全を守る活動

### ◆通学路の安全点検

子どもや保護者・PTA、地域の方々の目線で通学路を点検し、危険箇所を把握します。

### ◆地域安全マップの作成

地域安全マップを作成し、通学路の安全点検による危険箇所や見守りポイントをわかりやすく掲載します。

### ◆子どもたちへの見守り・声かけ活動

地域安全マップをもとに、教職員や保護者、地域の方々のご協力による登下校時の子どもたちへの見守り・声かけ活動を行います。

(安全・安心パトロール等の腕章・帽子を着用して)

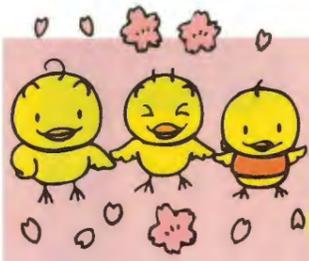
### ◆保護者や地域の方々による自主的な防犯パトロールの実施

## 「ちよだ まちかど見守り隊」を創設 ～地域のみなさまの見守りが必要です～

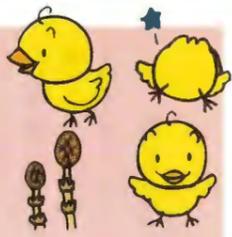
教育委員会では、保護者や地域の方々に登下校時間帯に通学路上での子どもたちの見守りと声かけをしていただくよう、小学校ごとに登下校時間と通学路を記載した「まちかど見守り隊」のチラシを作成するとともに、見守りと声かけの際に着用していただく安全・安心パトロール専用の腕章・帽子を用意しました。

このチラシと腕章、帽子を小学校と出張所で配付し、地域の方々の活動への参加をお願いしています。また、千代田区商店街連合会を通して、学区域内の商店街の皆さんへもチラシと腕章を配付し「まちかど見守り隊」へのご協力をお願いしています。





# 三学期・後期課程の できごと



▲ 麴町幼稚園 「豆まきする子ども達」  
節分の日に「鬼は外！」と元気な掛け声で、  
大きな赤鬼めがけて豆を投げつけました。



▲ 番町幼稚園 「みんなで凧揚げ」  
園児手作りの凧を番町小学校の校庭であげました。



▲ お茶の水幼稚園 「幼稚園のお誕生日」  
2月9日園児全員で、開園記念の集いをしました。



▲ 九段小学校 「フランス料理を楽しむ集い」1年生  
が2月18日九段小学校講堂にて、おいしい料理を食べながら  
食材やテーブルマナーを勉強しました。



▲ 千代田小学校 「公開授業」2月17日  
3年生が公開授業の中で、調べたい事ながら  
インターネットを活用して情報収集しました。



▲ 麴町中学校 「百人一首大会」2月3日  
1年生が国語の時間に鍛えた腕前を披露。「ひさかたの〜」「ハイッ！」下の句までは待ちません。

# 夢の課外授業

～子どもたちに生きる力と夢を～

「夢に挑戦してきた人」が小学校を訪問し講師を務める  
「夢の課外授業」（二十一世紀倶楽部主催）が、3校で開催されました。

「自分の夢にチャレンジを」

永井美奈子さん



フリーアナウンサーの永井美奈子さんが11月25日（金）に麴町小を訪問しました。  
永井さんは、恥ずかしがりやで引つ込み思案だった小学校時代、自分の性格を変えようと一念発起し、学級委員に立候補したエピソードを紹介し、「夢は必ず見つかる。見つけたら、本当にこれが自分の目指すものかということを考え、その夢をゆるぎないものに磨き上げてほしい」と語りました。  
児童らは「アナウンサーをして苦労したことは」「言いにくい言葉は」などと質問、永井さんが思わず考え込む場面もありました。  
最後に、発声練習と朗読に挑戦し、子どもたちは目を輝かせながら、文章を読むことの新鮮さと面白さに知らず知らず引き込まれていました。

「カッコいい大人になって」

五十嵐亮太さん



ヤクルトスワローズの五十嵐亮太投手が、12月14日（水）に千代田小を訪問しました。  
五十嵐さんは、「肩は強かったけれど、野球は下手だった」と、小学校時代の思い出やプロ野球選手になってからの苦労話などを披露し、「夢をかなえるためには、好きになり、ずっと思い続けること、そして、嫌なことにも積極的に挑戦すること」と、子どもたちを励ました。  
子どもから「今の夢は」と聞かれて、「160キロをだすこと」と話され、会場は大きな拍手に包まれました。  
会場を校庭に移して実技指導を行い、五十嵐投手とのキャッチボールに挑戦した子どもたちは、プロ野球選手の手球を受け止め、心地よい汗をかいていました。

「夢に向かって努力すること」

仁志敏久さん



読売巨人軍の仁志敏久選手が、1月16日（月）に番町小を訪問しました。  
自分の子ども時代のことやプロ野球選手になってうれしかったこと、日ごろから意識していること、これからの人生で大切にしていることなどを披露し、「将来の夢をもつこと、夢に向かって一生懸命に努力すること、努力することが夢を実現する可能性を高めること」とを語りました。  
子どもたちとの体力測定ではジャンプ力や握力測定に取組み、プロのトレーニング法なども教えていただき、カラーボールを使つてのトスパッティングでは、シャープな振りと鋭い打球に子どもたちが歓声を上げていました。

# 随想

## きょういく

初夢を見た。亡き母の夢である。

年をとるにつれよく夢をみるようになったが、母の夢はめったに見ることがなかったの  
で、目覚めた直後は少々気がかりであった。しかし夢の中の母は生前と同様、優しくほほえんで、「苦労さま」と言ってくれたように思えたので、日が経つにつれてそれほど気にはならなかった。

母が逝ったのは、私が大学二年生に進級した春である。享年五十二歳。

思い起こせば、母は笑顔の人だった。聞き上手な人だった。そして何よりもゆるぎない信念の人だった。

母が常々言っていた、私への言葉は、  
○帰ったらよく手を洗って、うがいをして。  
○ご飯はよくかんでね。  
○忘れ物、大丈夫？。

○背筋をまっすぐ伸ばして。  
○お友達は大切に、時間を大切に。などである。

部活動に明け暮れていた私は、母と接するのは朝餉・夕餉時のわずかな時間だけであった。母は、私が食事をする間は黙ってそばに座っている。そし

て私がお茶を飲み始めると話しかけてくるのが常であった。振り返って思うに、私はこれらの母の言葉をいやだと思つたことは一度もなかった。むしろ快い音楽を聴いたように心が癒され、元気づけられていたのだろう。くたくたに疲れて学校から帰つた私



### 「やさしいまなざし」

千代田区立教育研究所長  
川西 昭治

を、「お帰り」とほほえみながら迎えてくれる母。台所の方からおいしそうな汁のにおいが漂ってくる。空腹の私も物も言わずに、温かい汁とご飯にむさほりつく。満たされるとお茶を飲みながら、その日あったことを一気にしゃべりつづける。母は聞き上手な人とな

る。ひとときが終わると、母は時に次のような言葉をかけてくる。

「何か気になるようなことがあったら、お母さんに相談してね。おまえはお母さんの大事な子なんだからね。信じているからね。元気を出してね。」

思い出せばきりがなが、ここまで書いてきて、これは何も特別な事ではない、ごくごく平凡な家庭の一場面ではないだろうか、当時はこういう母親が、当たり前にあちこちに存在していたはずである、自分がお腹を痛めて産んだ子に対して生じる母親の自然な愛の表現なのだ、と思つた。

教育の基本は、安定した家庭生活、両親・とりわけ、母親の子を思う優しいまなざしから出るおだやかで温かい「ことば（こころ）」ではないだろうか。

職を辞する年の初夢に出てきてくれた母にあらためて感謝したい。母はおそらくこう言いたかつたのだろう。

「立つ鳥、跡を濁さず。」よ。こ  
苦労さま、これからも背筋を伸ばしてね、そして、すべてに感謝ですよ。」

母にとつて我が子は、いくつになっても子どもである。合掌

# 随想

## きょういく

### 千代田区の文化財を展示します！

千代田区の歴史文化に触れていた  
だく機会を増やすため、3月27日  
(月)から、麹町出張所ロビーにお  
いて麹町地域の武家屋敷跡から出土  
した遺物とパネルを展示します。

また、これまで千代田小学校、昌  
平小学校で展示していた文化財も同  
日リニューアルオープンします。

千代田小学校は、岩本町一丁目遺  
跡から出土した遺物を中心とした展  
示、昌平小学校（見学は申込みが必  
要）は、昭和初期から第二次世界大  
戦以前の人々の暮らしを再現するな  
ど、子供たちが実物に触れること  
のできる展示コーナーを設置します。

【問合せ】四番町歴史民俗資料館  
電話（3238）0739

千代田区教育広報誌「かけはし」で  
は、皆様からの声をお待ちしています。  
ご意見・ご感想・ご要望等をお寄せく  
ださい。

次号かけはしは、6月発行予定です。

教育広報「かけはし」第七十三号  
平成十八年三月十三日発行  
編集発行／千代田区教育委員会  
〒102-8688 千代田区九段南1-6-11  
☎(ダイヤルイン)03(5211)4352